



第26号

令和3年5月1日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 桜若葉がみずみずしい季節となりました。開業医の先生方はじめ関係機関の皆さまには、患者さんのご紹介など相互連携にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症における第四波の変異株拡大の勢いは大変気になるところですが、時には淡々と移りゆく四季の美しさに癒され救われています。関係者のみなさま、社会インフラを支えるみなさまは、日頃の緊張感に増してさらに気を引き締めなければならない局面をお過ごしのことと思います。当院ではゴールデンウィークを前に職員のワクチン接種を行いました。これまでと変わらぬ感染対策は必要不可欠ですが、地域医療の崩壊につながらないよう職員の健康を管理し出来る限りの対策を講じてまいります。みなさまのご多幸とご健康を心よりお祈り致します。

敬具
病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

ゴールデンウィークのごあんない ……P2

医師紹介『先生ってこんな人』 泌尿器科 小鷹 博人 医師 ……P3

○外来担当医表 5月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○地域連携係よりお知らせ

○医療従事者のための乳癌勉強会案内 【ZOOMにて5月27日開催】



◆◆ゴールデンウィークのごあんない◆◆

当院の外来スケジュールは以下のとおりです。
 なお、救急外来については24時間対応しています。

月	火	水	木	金	土	日
26日	27日	28日	29日	30日	1日	2日
通常外来	通常外来	通常外来	昭和の日 休診	通常外来	日本赤十字社創立記念日 休診	休診
3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
憲法記念日 休診	みどりの日 休診	こどもの日 休診	通常外来	通常外来	休診	休診

発熱にて受診希望の方は以下の対応を継続しています。

休日・夜間電話相談窓口	
開設時間	平日：21時～翌9時 休日：24時間
電話番号	0577-32-1111 ※発熱・風邪症状による受診相談である旨をお伝えください。
発熱外来	
開設時間	午前9時～12時、午後13時～17時 (月曜日～日曜日) ※土日祝祭日は、救急外来にて対応します。
受付時間	午前9時～11時 ※急を要する場合、受付時間外でも対応いたします。
検査	・PCR検査(遺伝子検査)は、平日のみとなります。 ・時間帯によっては、当日に検査結果が出ない場合があります。



◇◇ 『先生ってこんな人』 シリーズ①⑥ ◇◇

日ごろ紹介状を通じてお世話になっている開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるようスタートした『先生ってこんな人』シリーズ。第16回目は、泌尿器科の小鷹博人先生です。



泌尿器科

こたか ひろと
小鷹 博人 医師

日本泌尿器科学会専門医
福井大学・H26年卒

先生は地元ご出身でしたね。

生まれは高山市ですが、3歳から小学校2年生の間は名古屋に引っ越しました。その後は高山に戻り中学・高校と過ごしました。

医師になろうと思ったのは、いつ頃ですか？

はっきり覚えていませんが、物心ついた頃から父の姿を見て自然と医師になることを意識しはじめたと思います。医学部に入学するまでは苦労し浪人生の頃は人生で一番勉強したような気がします。

大学生活はいかがでしたか？

福井大学医学部に進学した当時は、医科大学から総合大学になったばかりだったためキャンパスも離れており田んぼにポツンとある大学で、周囲にスーパーもないようなところでした。
ほとんどの学生が車で通学していましたね。



当初から泌尿器科を希望していましたか？

研修期間は岐阜県総合医療センターに在籍していましたが、当初は産婦人科希望でした。オペに携わりたいと思っていたので外科も悩みましたが、緊急オペに呼び出される先輩医師を見て「大変そう」と思い、後半は麻酔科を周りました。おそらく上の先生方も「小鷹は麻酔科に来るだろう」と思っていたと思いますが、オペを見ているうちに腹腔鏡手術に興味を沸き、腹腔鏡手術のできる泌尿器科に結びつきました。振り返ると泌尿器科は1ヵ月しか周れなかったのですが、選択を後押ししたのは年齢が同い年の先輩医師の存在が大きかったかもしれません。

職場では先輩ですが、プライベートではBBQなどに誘って頂き公私ともにお世話になりました。また、泌尿器科は開腹するような緊急手術は比較的少なく、呼び出しがあったとしてもステントや腎瘻で30分から1時間程度なので、呼び出しのストレスは外科に比べると少ないかもしれないというイメージでした。

2年間の初期研修を終えた後も

岐阜県総合医療センターに在籍されたのですね。

研修期間を含む計5年間在籍しました。

月曜日から土曜日まで毎日手術があり、一日の仕事は日を跨ぐ時間に終わるのですが、若手は重度の感染症患者を受け持つことが多く必然と呼び出しも多かったので帰宅しても呼び出しがあるかもしれないと自宅と病院を往復する労力を惜みがちになりました。気が付けば、週に1度しか帰宅しない生活になり、ほとんど病院に暮らしていましたね(笑)

総勢7名の医師で年間1000件を超える手術をした経験は何ものにも代えがたく、ダヴィンチ手術も第一助手として勉強させていただき感謝しています。





当院で昨年 12 月からスタートした「HoLEP」手術は順調ですか？

件数はまだ少ないですが、経過も良く患者さんの生活が改善し喜んでいただいていることが何よりです。前立腺肥大症は、55 歳以上の男性の 5 人に 1 人がかかっているといわれ、「頻尿」「尿が出にくい」「残尿感」などの症状により日常生活に悪影響が生じます。

従来の前立腺肥大症の治療はまずは薬物療法を試みます。その後①効果が不十分な場合、②薬物治療が長期にわたる場合、③重篤な合併症（血尿や尿路感染をくり返す腎機能障害、尿閉など）が発生した場合には手術が選択されます。これまで経尿道的前立腺切除術（TUR-P）と開腹手術が一般的でしたが、大きな前立腺では輸血が必要となることや、手術侵襲が大きく創部感染や入院期間の長期化がネックになっていました。

一方、低侵襲でメスを使用しないレーザー手術である「HoLEP」は、内視鏡を使用するため切開しないので身体への負担が少なく、術後の回復が早く、組織侵襲が少ないため術後の疼痛も少なめです。肥大した前立腺組織を丸ごと核出するので、残存組織が少なく再発もほとんどありません。なお、術後の尿道カテーテル留置期間は 3 日間で、入院期間も 7 日間程度と短く済みます。

日常生活に支障はないが前立腺肥大症の症状を自覚しはじめている方、現役で働いていらっしゃる方にもお勧めです。



泌尿器科

こたか ひろと
小鷹 博人 医師

泌尿器科からはチームワークの良さが伝わってきます。

部長の柚原一哉先生を筆頭に、私、後輩には富岡奨幸先生と医師は 3 名でチームワークいいですね。外来も病棟も雰囲気良く、部長は何かあれば矢面に立ってくださり、若手が働きやすい環境を整えてくださっているように感じます。



開業医の先生方へメッセージ

当地には泌尿器科の先生は少なく、一方で高齢化社会なので患者さんは増加傾向にあります。薬物療法で落ち着いていらっしゃる方、他科疾患のない方、がん患者さん以外の方は開業医の先生方へ紹介させていただくこともございますが、その際は宜しくお願い致します。

手術を望まれる方、手術適応だと思われる方がいらっしゃいましたら、当科へご紹介いただければ幸いです。

